



社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索

肱東中学校 3年生「地域交流・体験教室」を実施しました!

5月から始まった「地域交流・体験教室」において後半3つのイベントを実施しました。7・8月号で紹介した「認知症絵本教室」と「傾聴コミュニケーション教室」で地域の方々と交流するための心構えを学んだ生徒たちが、今度は実際に地域に出て各種交流イベントに挑戦しました。ご協力いただいた菅田・大川地区の皆様、ありがとうございました。



6月29日(木)に仕込んだ炭を今度は全員で取り出し、その炭を使ってBBQをしました!!

イベント④
7月6日(木)炭出し体験

★最終イベント
7月7日(金)地域交流活動



☆認知症絵本教室では、認知症のことが深く理解できた。地域で出会ったときには教わったように対応したい。傾聴教室では、目と耳と心で聴くという、人と接するときに必要なことがわかった。

☆郷土料理教室では、地域の方に優しく丁寧に教えてもらい、男女一緒に協力して作れた。手作りなので気持ちがこもっていておいしかった。自分たちで作った料理をみんなで囲んで食べたときは、いつもよりおいしい気がした。

☆史跡めぐりでは、お墓に家の家紋と一緒に家の家紋があり自分のルーツを知った。荒間地峠に登って見た六地蔵が印象に残っている。500m歩いて登った先にあった六地蔵を見ると同時に、蔵川農民疏散の話のときには、疲れも忘れて興味を持って聞いていた。

☆炭窯の歴史を知れたらし、炭の作り方も丁寧に教えていただき、自分の入れた木がきれいに炭になっているのを見たときはとても感動した。ほとんどが手作業で苦労を知ることができた。焼いた木を取り出すとしつかり炭になっていて軽くなることを実感できた。

☆地域の方の優しさや温かさを感じた。地域の方が準備してくれていた活動だということを忘れず感謝したい。

☆成果発表のとき、地域の方がにこにこされていて自分たちに興味を持つてもらっていることがうれしかった。七夕飾り作りはサロンの方と一緒に考えながら楽しく活動できた。不安もあったけど、地域の方から声をかけてくださりリラックスして活動できた。

☆地域の方は、僕たちを後押しして応援してくださっている存在だと気づくことができて良かった。

いつかは地元に残って住んでいる方々に恩返ししたいと感じた。

☆これからも支えてくださる地域の方々に感謝し、地域とのつながりを大切にしたい。

☆この体験を生かして地域や社会に貢献できるようになりたい。



職場体験学習が実施されました

7月4日～6日までの3日間、肱東中学校2年生の山下七夢さん(ななみゆ)が大洲市社会福祉協議会において、職場体験学習を行いました。

高齢者や障がい者デイサービスでの交流活動、そして地域の集会所・公民館において、交流の場として定期的に開催されている高齢者サロン活動に参加。サロンでは、参加者やお世話人さんと一緒に茶菓子の準備をしたり、映画鑑賞をしたりして、おしゃべりしながら交流を楽しみました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



喜多地区 田口コスモスサロン(平成19年発足 代表 神田靖子氏)におじゃましました。自己紹介の後、地域の方々と良い笑顔でコミュニケーションがとれており、将来の夢に向かって新しい気づきが生まれていた様子でした。

サロン活動は、市内約120か所で定期的に開催。高齢者・子育て・障がい者サロンがあり、不安の解消や閉じこもり予防にもつながっています。映画鑑賞の様子。↓



私は、今回の職場体験でお年寄りの方の介護をすることは大変だと思いました。今まで、デイサービスではどんなことをしているのだろうと思っていましたが、私が考えていたより大変なお仕事だということが分かりました。

また、サロンに行つたときにも感じましたが、笑顔は大切だと感じました。笑顔でいる方が優しく見えるし、話しやすいと思います。このことから、これからはお年寄りの方と話すときだけではなく普段の学校生活でも笑顔でいらっしゃるよう気をつけていきたいです。貴重な体験をさせていただきました。

[山下さんの感想文より一部抜粋]

7月8日(土)、25日(火)、大洲市総合福祉センターにおいてワークキャンプ事業に参加予定の中学生・高校生に、事前説明会を行いました。

今年度も、体験学習先として市内福祉施設にご協力をいただいて実施する予定です。

また、福祉施設に行く生徒たちは、社協職員より利用者の方とのコミュニケーションのとり方や食事介助についての説明を受けた後、車いすの操作等の実技練習を行いました。

生徒たちは皆真剣に取り組んでおり、分かりにくい部分は質問もしながら、本番に向けて気持ちを引き締めています。ワークキャンプに参加することで、何かひとつでも得られるることを目標に頑張ってくれることを願っています。



高齢者疑似体験の様子

白内障の体験や杖歩行等身をもって体験しました。施設体験時も注意事項等を守り頑張ってください！



あいさつはコミュニケーションの基本です。説明を受けた後、実際に各グループで自己紹介等を行い、コミュニケーションについて学びました。施設体験時も積極的にお話してみましょう！(^^)！

参加予定校	体験実施予定施設
新谷中学校	介護老人保健施設フレンド
大洲高等学校	介護老人保健施設ひまわり
大洲農業高等学校	特別養護老人ホームとみす寮
帝京第五高等学校	グループホーム龍星 デイサービスセンター龍星 デイサービスセンター若宮

まごころのおくりもの 6月分

金銭の部（一般分）

ベレツツア南予教室
儀兼勝様

松山市

（指定分）

《肱南地区社協へ》

(故)山口正泰様
(故)森功様

柚木
西大洲

《南久米地区社協へ》

岡英司様

梅川

《柳沢地区社協へ》

宮本チトシ様

柳沢

《新谷地区社協へ》

池田正茂様

新谷

《大宅良一様》

久保正幸様

新谷

《上須戒地区社協へ》

高橋健次様

上須戒

《肱川地区社協へ》

和氣武士様

肱川町

《岩田サチコ様》

久保正幸様

肱川町

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

皆様からいただきましたご芳志につきましては、地区社会福祉協議会、市社会福祉協議会、その他使途についてご指定いただけます。

各地区社協や市社協等において、社会福祉活動の財源として、活用させていただいております。

お問い合わせは、
大洲市社会福祉協議会
地域福祉係まで

F
②①-0313
95

サロン紹介②すてきですね！「長浜地区さわやか体操」

平成27年発足。体操をメインとしたサロンで参加者は約20名。海を臨むガラス張りのふれあい会館4階大ホールにて、月2回程度開催。体操を通じ、健康増進や介護予防を目的として7月21日も楽しく活動されていました。

内容は、ラジオ体操やタオル

体操、ストレッチを中心に行なっています。今後も、体操を通してますますお元気にお過ごしください。

そして、参加者から、「体操が楽しくて次が待ち遠しい」との声も聞かれ、お世話人さんも大変うれしくてやりがいを感じているとのことで

浮世絵のうちわ片手に眠りけり
評 入山マサ子
美人の絵の団扇なのでしょうか。さそかし、やわらかな眠りであった事でしょう。

評 九十七歳の作者、お孫さんの優しい手紙にまだがんばると心ばえ新たな鶴岡さんです。

評 晴づく花咲くごとく枇杷熟る
佐野満寛
評 今年は何処でも枇杷の鈴生りを見る事が出来ました。作者はまるで花が咲いているようだと感じたのです。

梅雨きたる身を勞れよ孫の文

鶴岡エリ子

俳句ひろば



痛む足の今朝は樂なり風薰る
評 篠田幸子

やはらかく匂ふような風を
薰るといいます。痛む足も何
となく軽いようと喜こぶ作者で
す。

早咲きのカンナの薔薇日指し
評 佐野幸子

もうカンナは、空を目指して
薔薇を育てているのだと感じ入
る作者です。

■俳句コーナーは、白石チヅ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。皆様からのお便りをお待ちしております。

お問い合わせは、
大洲市社会福祉協議会
地域福祉係まで

災害ボランティア研修会並びに南予地域ボランティア交流会開催

愛媛県広域避難ベースモデル



原発を中心として、おおむね半径0~5km、5km~30kmの下記原子力災害対策重点区域がある。
7市町…伊方町、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊予市、宇和島市
※愛媛県ホームページより引用

平成29年6月25日(日)、大洲市総合福祉センターにおいて、大洲市ボランティア連絡協議会（以下、大洲市ボランティア交流会）による「災害ボランティア研修会並びに南予地域ボランティア交流会（以下、大洲市ボランティア交流会）」が開催され、南予地域3市5町の各ボランティア団体等の、約130名にご参加頂きました。

大洲市ボラ連の今井ヒロ子会長から、「この交流会の取り組みは、平成25年度に内子町で開催したのが始まりで、今回で3回目を迎えます。平成26年には、2市2町で行っていたものを、南予地域全域に広げボランティア団体の皆様と交流できることを、大変うれしく思っています。」とあいさつがありました。

その後、「原子力防災対策」による基調講演があり、放射線が人体に与える影響や原子力発電設備についてお話をされました。

左記「愛媛県広域避難ベースモデル図」をテーマに愛媛県原子力安全対策課による基調講演があり、放射線が人体に与える影響や原子力発電設備についてお話をされました。

また、南海トラフ地震の影響について、伊方原発の安全対策等の説明がありました。万が一、原子力災害が起きた場合、左記「愛媛県広域避難ベースモデル図」を参考して、被ばくしない予防的な防護措置を含め、段階的に避難を行います。避難指示が出た場合は、一時移転を行うこととなつております。むやみに自主避難すると全體の避難が遅れるとのシミュレーション結果が出ています。

休憩時のふれあいタイムでは、大洲オールドバンドの演奏と手話サークルドリームとの手話コーラスの共演もあり、大洲市ボラ連女性メンバー手作りの銘菓「しぐれ」を食べながら楽しまれています。

ワークショップ②は、災害対応クロスカードを行いました。このゲームは、大震災の被害軽減を目的に文部科学省が進め、「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として開発されたものです。YES・NOカードを使って、災害時の対応で個々の意見を確認し、自分とは異なる



バスタオルとフェイスタオルを使って防災頭巾を作成。30分程度で簡単に作ることができます。頭巾をザックリ縫っているのでほどきやすく、タオルの中に薬や衣類、お金や保険証のコピー等、ご自身や家族にとって必要なものを入れることができます。



最後に、次回開催地の西予市ボランティア連絡協議会西田石男会長より閉会のあいさつがあり、交流会を終了しました。他市町の皆様、ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。



八幡浜市、西予市、内子町、伊方町、鬼北町、松野町、愛南町、大洲市のボランティア関係者約130名の皆様にご参加頂きました。

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】毎週月・水曜日 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火曜日(9月5日と19日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火曜日および毎週木曜日 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く
長浜支所	9月22日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱川支所	9月5日(火) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河辺支所	9月8日(金) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午

問い合わせ先 本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通)
長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510